

新生美術館の設計概要について



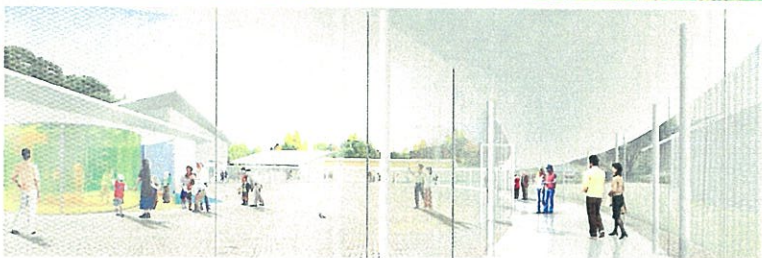
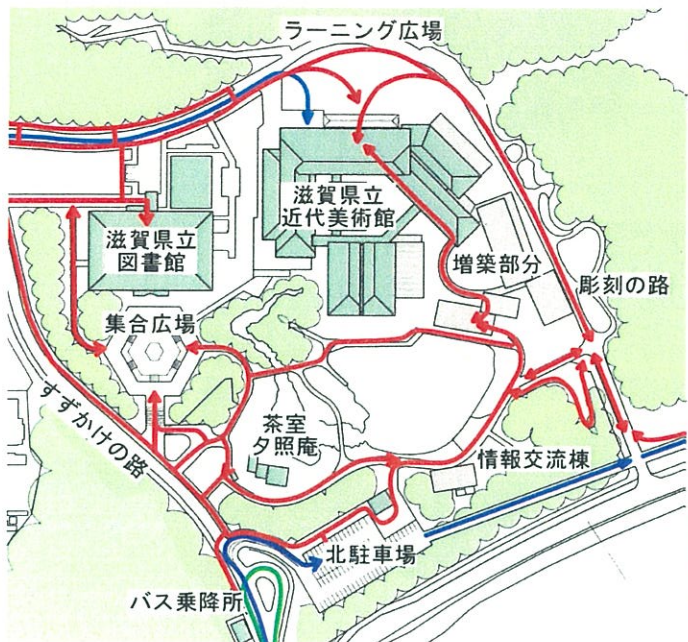
▶ 設計にあたっての基本的な考え方

- **新生美術館基本計画**（平成25年12月策定）に沿って、「神と仏の美」、「近代・現代美術」、「アール・ブリュット」を柱とし、
 - ① 指定文化財が保管・展示できる文化庁の**公開承認施設**として承認されること
 - ② 新たな時代にふさわしい、**魅力的な場**にすること
 - ③ 「**開かれた美術館**」として多くの県民や地域とつながることを、設計にあたっての基本的な考え方とする。
- 分棟型の**回遊式庭園美術館**のコンセプトを踏まえる。
- その上で、予定工事費は**美術館既存館改修と増築で47億円以内、公園改修5億円以内**で取りまとめた。

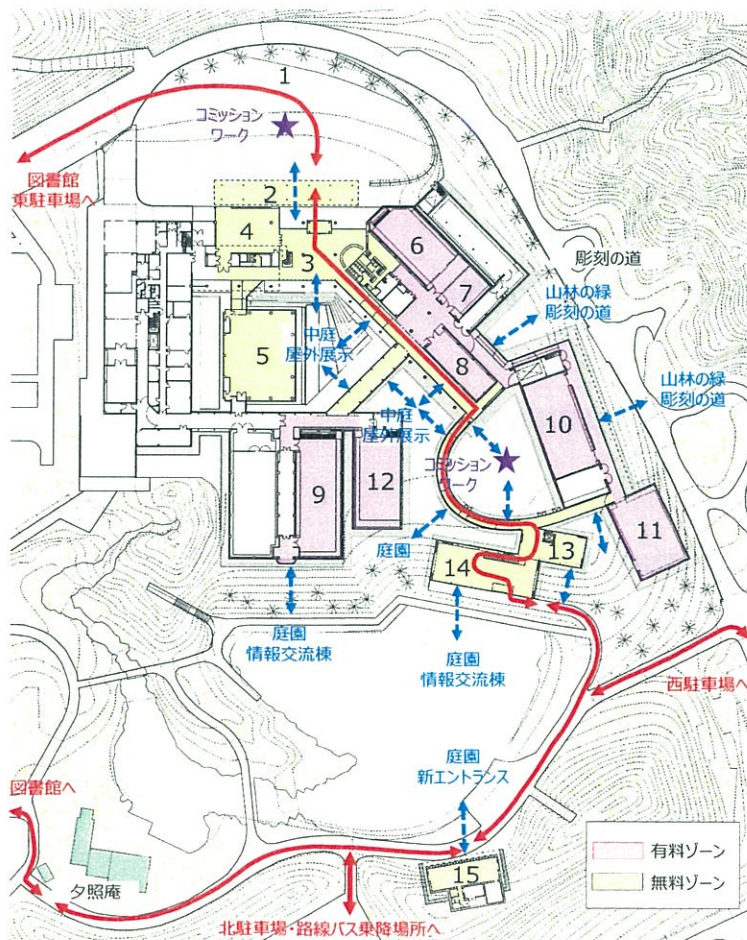
▶設計のコンセプト

回遊式庭園美術館

緑豊かなびわこ文化公園のランドスケープと調和する、回遊式庭園美術館です。
分棟型の既存美術館の特徴を継承し、増築部分や公園全体にその回遊体験を広げます。
ゆるやかな傾斜の地形にそった空間構成とし、公園動線と美術館動線が調和し連続します。



▶全体配置図

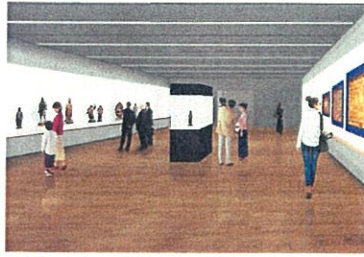


- 1 ラーニング広場
- 2 エントランス広場
- 3 エントランスロビー 1
- 4 ギャラリー兼講堂
- 5 ギャラリー
- 6 「神と仏の美」展示室（展示室 1）
- 7 「小倉遊亀」展示室（展示室 2）
- 8 「アール・ブリュット」展示室（展示室 3）
- 9 企画展示室（展示室 4）
- 10 企画展示室（展示室 5）
- 11 企画展示室（展示室 6）
- 12 企画展示室（展示室 7）
- 13 ミュージアムショップ
- 14 エントランスロビー 2（キッズスペース等）
- 15 情報交流棟（レストラン等）

▶ 多彩な鑑賞体験の提供①（常設展示室）

「美の滋賀」の魅力にいつでも触れられる3つの展示室

新旧の建物が連続する中心に、新生美術館の展示・収蔵の柱となる「神と仏の美」、「小倉遊亀」、「アール・ブリュット」の3つの分野に関する常設展示室を配置し、それぞれの作品にふさわしい環境を備えた空間で、いつでも「美の滋賀」の特徴的な美の魅力に触れることが出来ます。



「神と仏の美」展示室（展示室1）

琵琶湖文化館から引き継ぐ数多くの指定文化財を含めた仏教・神道美術等を展示。滋賀の奥深い「神と仏の美」に関する文化も知ることが出来る導入展示コーナーも設置します。

面積：380㎡ 天井高：4m 床材：フローリング



「小倉遊亀」展示室（展示室2）

滋賀県大津市出身の文化勲章受章画家、小倉遊亀（おぐらゆき）の国内最大のコレクションを紹介します。

面積：119㎡ 天井高：4m 床材：フローリング



「アール・ブリュット」展示室（展示室3）

新たに収集を行う、滋賀をはじめとした国内外の「アール・ブリュット」に関連する作品の魅力を伝えます。

面積：176㎡ 天井高：4m 床材：フローリング

▶ 多彩な鑑賞体験の提供②（企画展示室）

過去から現在までの幅広いテーマや芸術表現に出会える展示室

主に文化財や日本美術、工芸作品などに適した展示室と、現代美術などに適した展示室の合計4室を設置し、文化財展示から最新の芸術表現までに対応します。その時々々の展示テーマに沿って各展示室をフレキシブルに組み合わせ、コレクションの一層の活用や、幅広いテーマの展覧会の開催が可能となります。

企画展示室(展示室4)

壁面展示ケースを備え、郷土ゆかりの作品や、日本美術院の作家を中心とする近代日本画をはじめ、日本美術（絵画・工芸）の作品などを展示します。

面積：486㎡ 天井高：4m
床材：フローリング



企画展示室(展示室7)

奥行き(1.8m)と高さ(4.5m)のある壁面展示ケースを備え、仏像などの文化財をはじめ、大型作品の展示にも対応できます。

面積：375㎡ 天井高：4.8m
床材：フローリング



企画展示室(展示室5)

各展示室をつなぐ位置にあり、長大な壁面と中央の広い空間により、近代・現代美術の作品の展示にフレキシブルに対応できます。

面積：374㎡ 天井高：4m
床材：コンクリート表面硬化仕上げ



企画展示室(展示室6)

高い天井高(6m)を活かし、インスタレーション（空間を活かした展示）や大型の立体作品の展示など、主に現代美術の様々な芸術表現に対応できます。

面積：334㎡ 天井高：6m
床材：コンクリート表面硬化仕上げ



▶情報・交流・アメニティ機能

美術館での体験や活動を一層楽しめる機能の充実

子どもたちが美術館や美の魅力を遊びながら体験できる「キッズスペース」、公園を眺めながら地元の食材等も味わえるレストランやショップのほか情報収集・交流の場として多目的に活用できる「情報交流棟」、県民・団体の作品発表の場としての「ギャラリー」、利用者や作家による創作活動の場としての「創作室」など、多くの利用者が、美術館での体験や活動を気軽に楽しむことができます。



※写真はイメージカットです

▶びわこ文化公園（文化ゾーン）の改修

公園内の回遊性とアクセス性の向上

バス停や駐車場、園路の改善など、アクセスの利便性や移動しやすさの向上を図ります。また、公園内には大型のコミッションワーク（恒久展示作品）の設置も予定しており、一帯の魅力を向上させ、美術館が公園内に立地するロケーションを一層活かします。

- ★ コミッションワーク設置想定位置
- 歩行者動線
- 自動車動線
- 路線バス動線

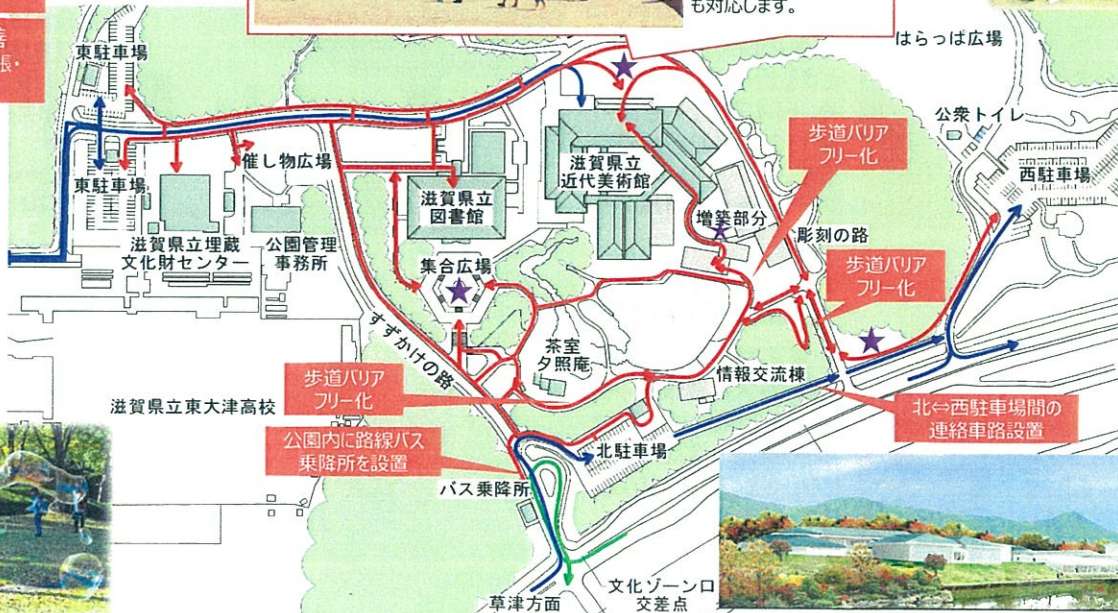
案内表示改善
(公園全域)

駐車場改善
(駐車区画拡張・
台数増)



ラーニング広場

既存館のエントランス前に設ける広場。県立図書館側とも空間の連続性を持たせ、公園利用者を美術館に誘うとともに、ワークショップやイベントの開催にも対応します。



▶ 基本設計からの主な変更点

| | 位置 | 基本設計 | 実施設計 (基本設計からの変更事項) | 変更理由 |
|---|--------------------------|------------------------------|--|--|
| ① | 「アール・プリュット」 展示室（展示室3） | ・出入口を2箇所 （南側と西側）に 設ける。 | ・出入口を南側1箇所にする。 ・東側（無料ゾーン側）の壁に小 窓(約1m×約1m)を設ける。 | ・西側出入口からの西日の影響を防 ぎ、展示環境を改善するため。 ・小窓を通して展示室内が見えるこ とにより有料ゾーンへの誘客が図れる ため。 |
| ② | 企画展示室 （展示室5） | ・展示室内に入 ロープを設置する。 | ・展示室内のスロープを展示室外に 移す。 | ・展示壁面を確保するため。 |
| ③ | 企画展示室 （展示室6） | ・ハイサイドライトを 設ける。 | ・ハイサイドライトを取り止め、人工 照明のみとする。 | ・展示に必要な光の照度と均一性が 得られないため。 ・メンテナンスに課題があるため。 |
| ④ | 新エントランス棟 | ・2棟に分けて配 置する。 | ・2棟を1棟にまとめて配置し、形 状を変更する。 | ・来館者動線の改善を図るため。 ・空間の有効利用を図るため。 |

▶ 建築概要

□ 建築概要

| | |
|---------|---|
| 規模 | 地上2階、地下1階 |
| 建築面積 | 8,687㎡ |
| 延床面積 | 12,908㎡ |
| 最高高さ | 11,325m |
| 主体構造 形式 | 鉄筋コンクリート造、鉄骨造 |
| 基礎 形式 | 杭基礎（場所打ちコンクリート杭） |
| 施設構成 | 展示室7室、収蔵庫6室、ギャラリー1室、ギャラリー兼講堂1 室、創作室1室、協働室1室、レストラン1室、情報交流室1 室、ほか |
| 総工費 | 47億円以内（設備工事、改修工事、外構工事を含む） |

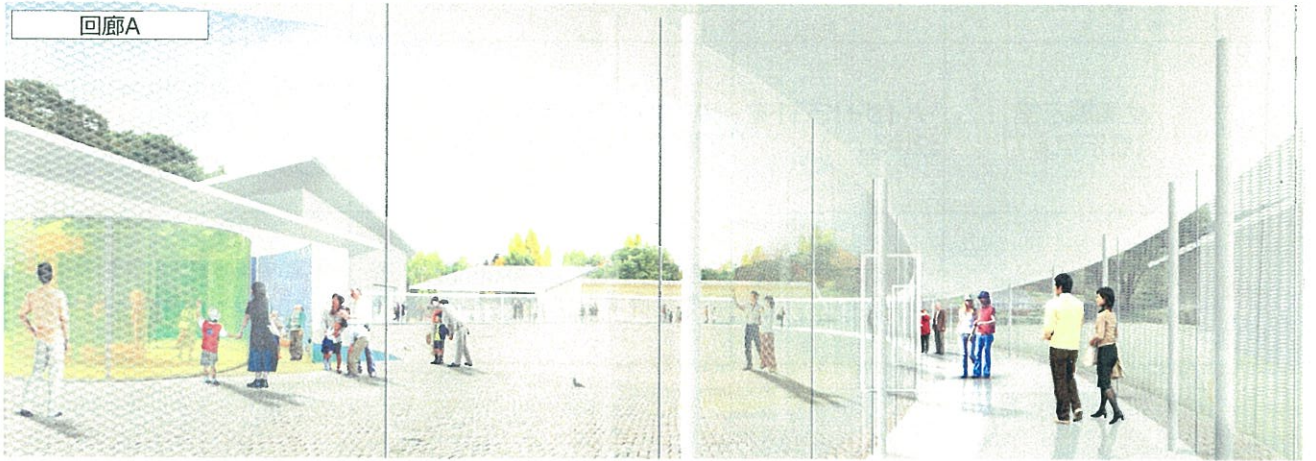
□ 面積表

| 展示部門 | 室名 | 面積 (㎡) | |
|-------------------|-------------|--------|-------|
| | 常設展示室 | 675 | 2,712 |
| 企画展示室 | 1,569 | | |
| ギャラリー | 468 | | |
| 情報・交流・ アメニティ部門 | ギャラリー兼講堂 | 312 | 1,225 |
| | 創作室 | 160 | |
| | レストラン | 152 | |
| | ミュージアムショップ | 54 | |
| | 情報交流室 | 53 | |
| | 協働室 | 95 | |
| | キッズスペース | 45 | |
| | その他 | 354 | |
| 収蔵部門 | 収蔵庫 | 1,944 | 3,550 |
| | その他 | 1,606 | |
| 調査・研究部門 | 資料室 | 135 | 259 |
| | スタジオ | 124 | |
| 管理・共用部門 | 管理諸室 | 745 | 5,162 |
| | ロビー・通路・機械室等 | 4,417 | |
| 床面積合計 | | 12,908 | |

エントランスロビー 2



回廊A



企画展示室 (展示室7)



企画展示室 (展示室5)



企画展示室 (展示室6)

